

一般質問発言通告書

議席番号 14 番

氏名 布施 賢司

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 複合施設整備をする前に石見神楽の諸課題と対処について

これまで浜田市世界こども美術館への併設案を軸に市が検討していた「浜田郷土資料館」の建て替えで、別に計画していた石見神楽伝承館との複合化案が、三桜酒造跡地活用に関する検討委員会からの提言を受けたのちの対応方針でこのたび浮上してきました。

(1) 各神楽社中・団体との意見交換会から出た諸課題について

- ① 昨年末、石見神楽振興議員連盟と各神楽社中連絡協議会に所属する団体と初めて意見交換会を実施しました。観光目的で神楽を舞うための場所や箱物ありきではなく、「石見神楽を創り出したまち」浜田として、歴史を学ぶことができ文化として後世に何を伝え・何を残すのか、そのためにも情報発信拠点としての整備が必要であると確認しつつも、多くの団体からは「新たな施設を整備する前に団体が抱えている諸課題に対処する道筋をつけるのが先ではないか」との意見が多数ありました。市長のご所見を伺います。
- ② 後継者不足は大きな問題で、神楽教室や子供神楽の指導はしているが後継者育成に追いついていない実情があると伺いました。特に旧町村部では高齢化で引退者も多くなり舞い手が足りず実施できない演目もあり深刻な状況になっています。少しでも後継者不足を解消するためにも、学校教育を通じた青少年への魅力発信は重要であると指摘があったところですがご所見を伺います。
- ③ 観光協会から依頼される神楽出演料が安いという声が多数あります。例として夜神楽が行われている三宮神社出演料5万円としている根拠を伺います。
- ④ 運営的には出演機会の減少や奉納神楽での御花（寄附）が年々減少しており、どの社中も財政状況が厳しいと伺いました。コロナ禍の中で特別番組の制作で30万円、衣装等を新調するのに申請があれば200万円を限度として補助されたことは大変感謝されていましたが、慢性的な資金繰りの解決には繋がっていないとのことでした。そこで提案された

のが、ふるさと寄附を原資とした各神楽社中協議会で任せてもらえる基金を設け、通常的に支出がかさむ衣裳の修理費や車の維持管理費等などに使える補助制度（無金利）を新設して欲しいと要望がありましたが、対処する考えはないのか伺います。

- ⑤ 各神楽社中・団体は奉納神楽を中心に県外、海外においても積極的に上演され、浜田市の観光振興や地域振興、若者の定住化などにも大きく貢献していただいています。石見神楽蛇胴、石見神楽衣裳、石見神楽面等の神楽関係産業にも大きく支えられ、ともに継承、発展してきました。この神楽関係産業が生み出す、石見神楽を演ずるに欠かせない伝統のものづくりは浜田の地に発祥したもので、まさに「石見神楽を創り出したまち」浜田の礎ではないでしょうか。この産業も作り手の技能は評価されますが、専職として生活が成り立たないとの理由で後継者不足であると聞いています。市として神楽関係産業をどう支えていこうとしているのか伺います。

2 幻の広浜鉄道 今福線について

浜田市に遺構として残る鉄道遺産「幻の広浜鉄道 今福線」、各地の事例発表やディスカッション等を通して、全国の未成線・廃線地域の人達と情報を共有し、鉄道遺産の有効活用や保存等について共に考えるため、2年ごとに開催されている「第4回 全国未成線・廃線サミット in 高千穂」に参加しました。

(1) 各地域の活用・活動事例について

- ① 前回開催地 浜田市から高千穂町にバトンタッチされサミットが開催されましたが、参加された執行部のご所見を伺います。
- ② トンネル活用について事例発表されたところでは、全てトンネル内の舗装、湧水、排水対策がしっかりされていましたが、今福線の見所の一つでもある下長屋トンネルは思ったように未だ整備されていません。長靴を履かなくてもよいように、計画的にお金をかけてでも整備するべきだと思いますがご所見を伺います。
- ③ トンネルの暗闇を活かした取組、公園として整備している取組等は、リピーター確保に繋がる効果があると実績発表がありました。一度は訪れてくれるけど、この部分が今福線は特に弱いと思うのですがご所見を伺います。
- ④ 昨年末、国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」として選定されました。大変喜ばしいことですが、どの辺が評価され受賞に繋がったのか伺います。